

東日本大震災について

いの町長 塩田 始

が復興されることを心からお祈りしています。

このたびの「東日本大震災」は、想像を絶する大津波の襲来により、戦後最大の災害となり、多くの方々が犠牲となられました。

いの町としまして、お亡くなりになつた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

被災地への、いの町の対応としまして、保健師2名を宮城県南三陸町に一週間程度、仁淀消防組合からは、高知県緊急消防援助隊として、3名派遣したところです。また町営住宅7戸供給可能ということで、高知県に報告しています。

県南三陸町に一週間程度、仁淀消防組合からは、高知県緊急消防援助隊として、3名派遣したところです。また町営住宅7戸供給可能ということです。

募金につきましては、本庁、すこやかセンター伊野、吾北総合支所、本川総合支所、枝川出張所に募金箱を設置しており、ご寄付いただいた募金は、いの町社会福祉協議会を通じて高知県共同募金会に寄付することとしています。

今回の災害は復旧まで、何年かかるか分からぬ状況となっています。今後におかれましては、町民の皆様方の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いします。

いの町としまして、今後も高知県等関係機関と協力しながら、少しでも早く被災地

いの町での南海地震及び津波予測について

昨年1月に、地震調査研究推進本部が発表した南海地震の発生確率は今後30年間に60%程度となっています。参考までに、同時期に発表された宮城県沖地震の発生確率は、10年以内に70%、30年内に99%の発生確率と発表されていました。

高知県が行つた南海地震の「第2次高知県地震対策基礎調査」では、想定地震を1854年に発生した安政南海地震(M_{8.4})規模とし、南海地震の単独発生に加えて、中央防災会議が出した東南海・南海地震の同時発生の被害想定を参考に、高知県独自で、想定される最大規模の被害があるものとしています。

この車両は、昭和62年に配備した小型ポンプ付積載車の老朽化のため更新配備したもので、積載している小型動力ポンプは持ち運びが可能になっています。

そのため、消防車が入れない場所で発生した火災や林野火災などでは、小型動力ポンプを現場に運んで消火活動を行なうことができます。

津波予測については、海域の初期潮位を「平均満潮位」とし、いの町においては高速500m地点で約50cm程度の水位上昇が予想されているところです。

しかしながら、今回の東日本大震災では、想定を上回る

津波が発生し、安全とされた避難所において、多数の方が亡くなられるという事態となつています。

高知県では、今回の震災を十分検証し、必要に応じて計画の見直しを行うこととしていますので、いの町も高知県と連携を取りながら、対応していく予定となっています。

いの町も高知県と連携を取りながら、対応していく予定となっています。

吾北方面隊上八川分団 第2班に小型ポンプ付積載車を配備

吾北方面隊上八川分団第2班に火災等の出動に使用する小型ポンプ付積載車を更新しました。

この車両は、昭和62年に配備した小型ポンプ付積載車の老朽化のため更新配備したもので、積載している小型動力ポンプは持ち運びが可能になっています。

そのため、消防車が入れない場所で発生した火災や林野火災などでは、小型動力ポンプを現場に運んで消火活動を行なうことができます。

津波予測については、海域の初期潮位を「平均満潮位」とし、いの町においては高速500m地点で約50cm程度の水位上昇が予想されているところです。

仁淀消防組合消防本部 緊急消防援助隊を派遣

東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県に、高知県緊急消防援助隊の一員として、仁淀消防組合からも救急車1台、救急救命士2名、機関員1名を派遣しました。

緊急消防援助隊は、消防庁の要請で高知県内各消防本部より50名の精銳が選ばれ3月14日夕方高知を出発、京都、渡静岡を経由し、岩手県大船渡

市大船渡東高校に3月16日午後3時に到着しました。ここを拠点として高知県隊は、それぞれ任務分担をして支援を行なっています。

大船渡東高校では、野営しながら活動を行なってきました。隊員は、慣れない厳しい寒さの中、避難場所から病院へ的一般救急搬送や重症患者を往復4~5時間かけて転院搬送をするなどの業務に携わつてきました。

被災地の現状はテレビなど報道で掌握しているつもりの隊員たちも、瓦礫や車が建物に突き刺さった様があちこちに見られ、目を覆いたくなるような惨状に唖然としたそう

で、自然災害の恐怖をさまざまと見せつけられたようですが、そんな中、救急活動で接した被災者の方が自分たちを明るく気遣かってくれて逆に勇気をもらつたと話していました。

今回の未曾有の大震災では、何万人という住民の方が犠牲となり、その中には我々の仲間である消防職員も含まれています。心からのお見舞いと、被災地の一日も早い復興を願つてやみません。

5月の消防団行事予定

5月11日(水) 仁淀消防連合会研修会
(土佐和紙工芸村)
5月27日(金) 中央地区消防連絡協議会
(日高村社会福祉センター)

防災行政無線

防災行政無線の放送内容をもう一度確認したい時は、次の電話番号で確認することができますのでご利用ください。

電話番号
問合せ
総務課 防災係
893-1213
893-1214

域の期待に応えるため、より一層消防・防災活動に努めていきます。

いの町としまして、今後も高知県等関係機関と協力しながら、少しでも早く被災地

も高知県等関係機関と協力しながら、少しでも早く被災地

今後も地域の期待に応えるため、より一層消防・防災活動に努めていきます。



被災地の現状はテレビなど報道で掌握しているつもりの隊員たちも、瓦礫や車が建物に突き刺さった様があちこちに見られ、目を覆いたくなるような惨状に唖然としたそう

で、自然災害の恐怖をさまざまと見せつけられたようですが、そんな中、救急活動で接した被災者の方が自分たちを明るく気遣かってくれて逆に勇気をもらつたと話していました。